



臨時休校中の「家庭学習」の課題について

校長 相原 雄三

4月6日(月)、澄みきった青空の下、春の日差しが注ぎ込む校庭で、令和2年度の入學式が行われ、67名の1年生が入學しました。

一方、2年生から6年生にとって、新年度の第一歩を踏み出す機会となる翌7日(火)の始業式は、その日に、「緊急事態宣言」が発令されることを考慮して、中止となってしまいました。一つ上の学年に進級したことの喜びを噛み締める場面が急になくなってしまい、子供たちの落胆した声が今でも聞こえてきそうです。また、入學式を終えた1年生も、例年なら期待感をもって嬉しい気持ちで翌日から登校することができたのと思うと、残念な気持ちでいっぱいになります。

こうした思いを学校と家庭で持ちながらも、これまでに経験したことのない新型コロナウイルスとの闘いという難局を、学校と家庭が手を携えながら、子供たちの成長のために乗り越えていかなければなりません。

特に、今、ご家庭で心配なことは、子供たちの健康・安全はもちろんのこと、学校という場での授業を通じた“学び”の機会が失われてしまっていることだと思います。

日本の学校教育は、教師から子供への対面指導と、子供同士の関わり合いを通して、子供たちに生きる力を育ててきました。しかし、今、子供たちが学校に来られない状況の中では、家庭での自学・自習を、いかに「実」のあるものにしていくかということが大切だと考えています。

第1弾として、4月7日(火)から10日(金)までの教科書配布の際に、2年生から6年生に渡した「家庭学習」の課題は、前学年の復習を行うことを目的としたものでした。

しかし、今後、臨時休校がさらに長期化することも視野に入れると、新しい学年の学習内容にも少しずつ取り組んでいかなければなりません。

そこで、20日(月)からの「学校連絡日」の期間に渡す第2弾の「家庭学習」の課題は、前

学年の復習だけではなく、当該学年の教科書に基づく内容や、それを進めるための授業の準備として前もってやっておく必要があるものも出すようにしました。

課題の選定に当たっては、できるだけ自分一人でも取り組めるような内容のものや、新しい教科書やドリルを使って進められるような内容のものを考えました。そして、取り組んだ課題については、担任に提出するようにもしました。

また、学習に厚みをもたせ、理解を深めたり興味を広げたりすることができるよう、「NHK for school」という学習内容に関連する配信動画を視聴するガイドも付けるようにしました。

さらに、課題が早く終わってしまった場合は、東京都教育委員会が作成した「東京ベーシック・ドリル(国語・算数・理科・社会)」に取り組むようにもガイドしています。この教材は、1年生から6年生までの間に、身に付けておいてほしい内容を系統的且つ厳選して構成したドリルで、「電子版」と「プリント版」があります。基礎的・基本的な内容を復習するのによい教材ですので、ぜひ、活用してみてください。

※「NHK for school」と「東京ベーシック・ドリル」は、関台小のホームページの「臨時休校中の対応について」のところをクリックして開くと、すぐにアクセスできるようにしてあります。

今後、もし臨時休校が延長になった場合は、先に述べたようなコンセプトで「家庭学習」の課題を出していきますので、ご家庭におかれましては、大変申し訳ございませんが、子供たちの取組に対して、ご支援・ご助言をいただけるとありがたいです。

また、「家庭学習」の課題の取組でわからないことがあれば、担任に遠慮なく連絡してください。

引き続き、臨時休校中の学校及び区教育委員会の対応の連絡は、ホームページに掲載していきますので、随時、閲覧をお願いいたします。

<裏面あり>

【お願い!!!】

＜家庭学習サービス＞

「ライズeライブラリアドバンス マルチブラウザ対応版」

☆自宅のパソコン、タブレット、スマートフォンからインターネットに接続して、ドリル学習に取り組むことができるコンテンツです。

☆今後、このコンテンツを活用した「家庭学習」の課題も考えています。

⇒「学校連絡日」に配布したプリントに、「学校コード」「ID」「パスワード」が記載されていますので、ログインできるかどうか確認してください。

(もちろん、すぐに家庭学習として活用していただいても結構です。)

※IDとパスワードは個人で違いますので、プリントはご家庭で大切に保管してください。